令和6年度第3回筑紫野市スポーツ推進審議会 議事録

○日 時

令和6年11月27日（水）午後2時から午後3時まで

○場 所

筑紫野市役所 1階 多目的ホール

○出席委員（7名）

審議会委員 黒葛原 緑	審議会委員 浅谷 芳江
審議会委員 力久 光博	審議会委員 大橋 充典
審議会委員 泉原 嘉郎	審議会委員 坂倉 元
審議会委員 溝田 喜彦	

○欠席委員（3名）

審議会委員 川上 義昭	審議会委員 久保 勝美
審議会委員 砥綿 敬二	

○出席説明員（5名）

教育部長 長澤 龍彦
文化・スポーツ振興課長 安樂 鉄平
文化・スポーツ振興課スポーツ企画担当係長 森田 健太郎
文化・スポーツ振興課スポーツ施設担当係長 萩尾 浩三
文化・スポーツ振興課スポーツ企画担当 江口 達弥

○議事日程

1. 教育部長あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 筑紫野市スポーツ推進計画（案）について
4. 第2回筑紫野市スポーツ推進審議会の議事録について
5. 事務連絡

会議録

○スポーツ施設担当係長：定刻となりましたので、ただいまから令和6年度第3回筑紫野市スポーツ推進審議会を開催いたします。

私は本日進行を務めます文化・スポーツ振興課の萩尾でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

それでは出席の状況を報告させていただきます。審議委員7名の出席をいただいております。3名の方が欠席ということで、委員の過半数を超えているため、当審議会が成立していることを報告させていただきます。

なお当審議会について、本市のホームページで傍聴者の募集を行いました。応募者はいらっしゃいませんでした。

続きまして、配布資料の確認でございます。まず会議次第が1つ目、それからスポーツ推進計画（案）がございます。それと第2回筑紫野市スポーツ審議会議事録の3点でございます。資料に不足がある委員はいらっしゃいませんか。よろしいでしょうか。

それではお手元に配布しております次第に沿って進めさせていただきます。

次第の1、教育部長あいさつ、審議会の開会にあたり筑紫野市教育委員会教育部長、長澤が皆様にご挨拶を申し上げます。

○教育部長：皆さんこんにちは。教育部長の長澤でございます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、本日お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

前回9月に審議会を開催させていただきました。それから約2ヶ月が経っております。第2回審議会において委員の皆様からいただきましたご意見を踏まえまして、それを基に、庁内でも意見をいただいたところでございます。いただきました意見をまとめたものを、本日案としてお示しさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

この後に議会の報告、そしてパブリックコメントを実施することになりますが、その場が市民の皆様には計画案を見ていただく場になります。本日完成形を作り上げたいと考えておりますので、委員の皆様のご意見いただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

○スポーツ施設担当係長：長澤部長ありがとうございました。続きまして、次第の2、委員長あいさつ。

大橋委員長よりごあいさつをお願いいたします。

○大橋委員長

皆さんこんにちは。9月から2ヶ月が経ちまして、事務局に色々調整をいただいて、推進計画案ができ上がったことを伺っております。本日も皆様からのご意見を伺いながら、スムーズに議事進行させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○スポーツ施設担当係長：ありがとうございました。それではこれからの議事進行につきましては、大橋委員長にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○大橋委員長：早速ですけれども、ここから議事進行を進めさせていただきます。次第の3、筑紫野市スポーツ推進計画案についてです。少しボリュームがある内容ですので、前回の骨子案から変更した点を中心に事務局から説明をお願いいたします。

○文化・スポーツ振興課長：皆さんこんにちは。筑紫野市文化・スポーツ振興課長の安樂です。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、筑紫野市スポーツ推進計画案についてご説明させていただきます。

冒頭に部長から話がありましたけれども、前回の第2回スポーツ推進審議会後に、教育委員会、総合教育会議、市役所内部の会議を経て、皆様の意見等を反映し、今回お手元に配布の筑紫野市スポーツ推進計画案を作成しております。

今後は12月に市議会への報告、それから1月に市民の皆様からの意見を聴取するパブリックコメント。それから2月ごろに第4回スポーツ推進審議会を行いまして、その結果をもって、教育委員会へ計画の答申を行い、3月の完成というスケジュールで進めて参ります。

スポーツ推進計画の作成につきましては、大詰めを迎えている段階となっておりますので、本日の会議において修正が出た場合は、具体的にどのような文言にするのかということも含めて、皆様のご協力をいただきながら本日の会議でスポーツ推進計画案を完成させていただきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

始めに事前にデータを送付していましたが資料に追記した箇所がありますので、追記した内容について説明させていただきたいと思います。

まず、スポーツ推進計画案の55ページをご覧ください。

審議会の委員名簿を追加させていただいております。

次に56ページから58ページです。

こちらに当審議会の条例、規則を記載しております。

次に59ページから60ページです。

用語集を追加しております。以上です。

それでは、こちらの資料に基づきまして説明させていただきます。

前回の第2回スポーツ推進審議会から変更となった箇所については黄色で塗りつぶしております。そして用語集に挙げている文言を青色で塗りつぶしており、用語の後ろにアスタリスクをつけております。

前回の会議で第3章の2、基本目標までについては特に意見がございませんでしたので、40ページの施策体系以降で、主に変更した点（黄色で着色した箇所）について説明させていただきます。

42ページをご覧ください。

一番上の文書になりますが、「大規模改修等の時期に合わせて」の次に「各施設の利用状況等を踏まえ、その施設の利活用方法を再検討するとともに」の文言を追記しております。

次に、下段の(3) スポーツ施設の利便性の向上

文中にあった「指定管理者」を「現指定管理者」と変更させていただいております。

指定管理者については、今後変更となる可能性があることから修正を行っているところでございます。

次に45ページをご覧ください。

大題目 3 生涯スポーツの推進の前段の部分になります。

生涯スポーツには、「する」「みる」「ささえる」の考え方が重要であるということを踏まえて、付け加えさせていただいております。

次に(1) スポーツイベントの充実 ②地域スポーツイベントの開催 の箇所になります。

各小学校区の体育振興会が実施するという表記にしておりましたけども、地域のスポーツイベントにつきましてはコミュニティ運営協議会でも行っている事例もありますので、実施主体の中に「コミュニティ運営協議会」という文言を追加させていただいております。

次に③その他のスポーツイベントの開催 の箇所になります。

障がいのある方やない方も、ともに参加してもらいたいというところを強調するため、「障がいの有無にかかわらず」という文言を追記させていただいております。

次に47ページをご覧ください。

4番目に記載の自治公民館等に～の文章ですが、前回は「教室の開催」としていた箇所を「機会の提供」に変更しております。市主催の教室だけではなく自治会が主催していることもありますので、こちらの文言が適切と捉え変更をさせていただいております。

次に49ページをご覧ください。

(1) 子どものスポーツ活動の推進 ③スポーツのきっかけづくり の箇所になります。

この文面にあるスポーツイベントにつきましては、社会教育事業においても想定していますので、分かりやすいように文言を追加させていただいております。

それから(2) 親子スポーツの活動の推進 ①家族で参加できるスポーツプログラム等の充実の箇所です。

親子でスポーツを行う際に道具を使わず気軽にスポーツを行うことが重要と捉えて、基本的な「歩く・走る・投げる」の要素を取り入れたイベントを検討しますという文言を追記させていただいております。

次に52ページをご覧ください。

(1) 筑紫野市ゆかりのアスリートへの支援 ①アスリートの発掘 の箇所になります。

以前の内容が、言葉が不足しているというところがございますので、「アスリートの発掘、育成には高い専門性が求められるため、スケールメリットを考慮し」という文言を付け加えさ

せていただいております。

そして、始めに説明させていただきましたが 59 ページ以降に用語集を付けております。市民にとって分かりやすい内容になるように追記しております。

以上、スポーツ推進計画案について、前回からの修正点について説明させていただきました。よろしく願います。

○大橋委員長：ありがとうございました。ただいまの説明についてご意見、ご質問等があれば挙手にてお知らせください。いかがでしょうか。よろしいですか。

では続きまして、次第の 4、第 2 回筑紫野市スポーツ推進審議会議事録について、事務局から説明をお願いいたします。

○文化・スポーツ振興課長：お手元に令和 6 年度第 2 回筑紫野市スポーツ推進審議会議事録を配布しておりますが、ご覧いただきまして修正点等ありましたら、12 月 6 日の金曜日までに、事務局までご連絡いただけたらと思います。

以上、よろしく願います。

○大橋委員長：ただいまの説明についてご意見、ご質問等があれば挙手にてお知らせください。いかがでしょうか。ちょっと足早に進めてしまいましたが、1 つ目の推進計画について修正点はすべて説明いただいたということでよろしいですか。

○文化・スポーツ振興課長：はい。もし何かありましたら先ほど説明した以外の部分でも、見せ方等含めて何かアドバイスがあればいただければと思います。参考までに表紙をつけております。こちらはあくまでイメージ図になります。後日、しっかりとしたものを、提示させていただきたいと思います。

○力久副委員長：よろしいですか。45 ページの地域スポーツイベントの開催のところ、変更となった黄色のところ、各地区のコミュニティ運営協議会や体育振興会等っていうのが入っていますが、今体育振興会っていうのはどのくらい残っているのでしょうか。名前が体育からスポーツという名前に変えているところが多いですね。であれば体育協会もスポーツ協会とか名前を変えるようなことを言っていましたので、何となく違和感があると思うのですが、今体育振興会はほとんどスポーツに名前が変わっているのではないかと。

○黒葛原委員：国自体が体育をスポーツに名称を変えていますので、おそらく各地域も体育振興会というふうに残ってるところは数が少ないのではないかと思います。

○文化・スポーツ振興課長：現状としては、体育振興会とスポーツ振興会がそれぞれあるようです。

○江口：おそらく各地区で体育振興会に代わる名称っていうのがバラバラであったと思うのですが、例えば天拝だったら天拝ブロックスポーツ振興会であるとか、地区によって名称が変わってくると思います。その辺をこの計画にどのように表記すればよいかアドバイスいただければ助かります。

○大橋委員長：おそらく総称がはっきりしていないのが現状だと思います。最近名前が変わってきてるので、体育の日がスポーツの日になったり、国体が国民スポーツ大会になったりもあります。国体とかだと、国民スポーツ大会にそのまま名前を当てはめて、そのあとで旧国体とかそういう形で示されているので、その辺りで少しどちらの名前でも適用できるけれども、今後に合わせてスポーツっていう言葉を使うのはいいのかもしれないので、調べていただいて、何か当てはめのいい言葉を探していただくといいかなと思います。

○黒葛原委員：関連してですが 55 ページに委員名簿についてです。筑紫東小学校の名称が体育振興会になっていますが、スポーツ振興会に変わっていますのでお知らせします。

○文化・スポーツ振興課長：先ほどご意見のありました体育振興会の分ですが、用語集の中では体育振興会について記載していますので、事務局の方に一任させていただいて、この文言については精査させていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

○一同：はい。

○大橋委員長：ありがとうございます。その他いかがでしょうか。冒頭で部長から説明がありましたとおり、今回この推進計画案を何とか完成形まで持っていきたいというお話でしたので、少し時間がかかるかもしれませんが文言等も見ていただいて、修正をもしここでしていただけるのであれば、スムーズに計画案が完成していくのかなと思いますので、少しお時間いただいてもよろしいですか。

○文化・スポーツ振興課長：是非皆さんで確認をお願いします。

○力久副委員長：もう 1 ついいでしょうか。44 ページにあるスポーツ推進委員のところなんですけど、コーディネーターという文言は用語集にあるのでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：用語集にはないです。

○力久副委員長：コーディネーターという文言は何となく分かってる人は分かるけど、分かりにくいから用語集に追加したほうがよいのではないのでしょうか。

○スポーツ企画担当係長：よろしいですか。今回、巻末に用語集を載せさせていただいておまして、スポーツに関連した用語をピックアップしました。実はガバナンスとかも候補にはあったのですが、そういうのを載せ始めると辞書並みのボリュームになってきそうだったのでやめました。コーディネーターという言葉は世の中に流布しておりますので、省略させていただいたところです。用語集には、世の中一般的に使用されている言葉についてはあえて掲載していないということをご理解いただいた上で、コーディネーターを掲載した方が分かりやすいということであれば対応したいと思います。

○黒葛原委員：以前の体育推進員からスポーツ推進委員に変わったときに、地域とつなぐコーディネーターという役割のところが一番大きく変わった点だと思います。ですから、この本文の中でも出ていますが、用語集の中でも、そういう意味合いを少し入れた方がいいのではないかと思います。

○スポーツ企画担当係長：コーディネーターという用語は、人と人をつなぐという意味合いなのでスポーツに直接関わるものではないような用語であるため、掲載については迷ったところでもあります。

○大橋委員長：例えば地域のスポーツコーディネーターというのを、コーディネートするとかコーディネートする役割の、という感じにして（コーディネーター）っていう感じにしたらいかがでしょうか。もちろん一般的な用語集に入れるとなると、かなりボリュームが増えてしまうので、初見のタイミングで何か解説となるような書き方で、あとは略記という形で、コーディネーターって言葉を使うのが自然かなと思います。前のページで出てきている箇所があればその場所で、詳しく書いていただいて、その後はコーディネーターという言葉を使えるように工夫していただくのがいいのかなと思います。

○文化・スポーツ振興課長：ありがとうございます。ご意見のとおり対応させていただきたいと思います。

○大橋委員長：その他は泉原委員が言われていた体育協会という言葉が使われてる部分もおそらくスポーツ協会になっていくであろうということを想定して、スポーツ協会と記載して（旧：体育協会）なのか、現状の体育協会に記載するのか、そのあたりも合わせてしまう方がいいと思います。

○スポーツ企画担当係長：よろしいでしょうか。今の体育協会のお話でございますけど、本来浅谷委員がおられるので僭越ではございますけれども、筑紫野市の体育協会につきましては、おそらく来年の6月に代議員総会を経て、スポーツ協会に名称が変わるということは既定路線できております。ただ、現時点では代議員という制度がありますので、それを考えると、この審議会ですぐにスポーツ協会というのを、表記するという訳にはいかないというのが多分組織的な動きになります。スポーツ推進計画の印刷が3月の予定でございますので、5年間は体育協会で見かえていただけたらと会議でも発言があったと思いますので、代弁をさせていただきたいと思います。浅谷委員、よろしいでしょうか。

○浅谷委員：はい。よろしく申し上げます。

○大橋委員長：ここに出てくる体育協会の意味は、筑紫野市体育協会を指しているということであればいいと思います。

○スポーツ施設担当係長：よろしく申し上げます。

○文化・スポーツ振興課長：計画内で最初に体育協会が出てくるときに、筑紫野市体育協会（以下「体育協会」という。）と記載していますので、すべて筑紫野市体育協会と読みかえてよろしいかと思います。

○大橋委員長：19ページに最初に出てきていますかね。分かりました。

その他いかがでしょうか。

○力久副委員長：アスリートという言葉は用語集に入れなくていいですか。アスリートは分か

る人は分かると思いますが。

○大橋委員長：アスリートはどのように表記できますかね。逆に解説を加えることが難しいのであればアスリートのままでいいと思いますが。

○スポーツ企画担当係長：確かにスポーツ特有の言葉になりますので、分かりやすい解説を考えたいと思います。

○カ久副委員長：よろしくお願いします。

○大橋委員長：7ページの下に推進計画の期間が示されている図がありますが、今回進めているのは令和7年度以降に矢印が伸びている、これを今作っている段階ということでよろしいですか。

○文化・スポーツ振興課長：そうです。

○大橋委員長：これは令和11年度までの5ヵ年計画で策定するものになりますが、適宜必要な見直しを行うなど具体的に何かやることはあるのでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：53ページをご覧いただきたいと思います。53ページの2、計画の進行管理というところになります。この計画ができましたら、この記載内容が実行されてるかどうかに関して、検証はもちろんしなければいけないと考えています。検証につきましては、この審議会を通じて報告させていただきたいと思っています。

審議会の中で見直しが必要という箇所があれば、指摘の部分は見直しを行うことが想定されますので記載させていただいてるところです。

○スポーツ企画担当係長：付け加えになりますが、7ページの各計画の期間のところでは赤矢印の上に第七次筑紫野市総合計画がございます。こちらが私達の計画の上位計画になりますので、令和10年度や11年度のところで大きく内容が変わるということになりますと、どうしても我々としては下位の計画になりますので、その際には見直しが出てくるのが可能性としてはあります。以上でございます。

○大橋委員長：具体的に定期的というのは、例えば1年2年ごとに何か調査をして、その内容がここで何か諮られるという感じですか。

○文化・スポーツ振興課長：最低でも年に1回は必ず行いたいと思っています。あとは必要に応じて開催させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

○大橋委員長：これが具体的に目標値の達成度を確認なので、目標値ということは、スポーツの実施率みたいなものがあるのでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：目標値の達成度もありますが、他の想定としては、市が推進した事業や取り組んだ結果を報告させていただきたいと思います。

○大橋委員長：そうすると例えば改訂という形で、この推進計画自体を改訂させていくことは可能だということでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：そうですね。ただ冊子にするとかなり費用もかかりますので、冊

子にすることは難しいかもしれませんが、この計画自体に関しては、随時変更は可能だと思っていますので、修正した点については、例えばホームページで公表する等は可能だと判断しています。

○大橋委員長：ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

○スポーツ企画担当係長：先ほどご質問がありました、体育振興会の件をこちらの方でお預かりするということですが、現在では二日市東と山家がまだ体育振興会があるということでございますので、念のため報告をさせていただきます。

○大橋委員長：ちなみに文言の修正等期日があるとなれば、今日までになりますか。

○文化・スポーツ振興課長：いえ、文言等の部分に関しましては、事務局でも再度精査したいと考えていますので、もしお気づきの点があれば、できれば1週間を目途に12月5日17時までにはいただきたいと思います。6日までに計画案を送付しなければならない作業がありますので、よろしくお願ひします。

○大橋委員長：全部見ていただく時間も限られていますので、もう1点だけ。少し細かいですが45ページの生涯スポーツの推進の部分で、

(1) スポーツイベントの充実 ③その他のスポーツイベントの開催のところ、文章中段の「障がいの有無にかかわらず誰もが気軽に参加できるボッチャや・・・」というところは、アダプテッドスポーツ的なところだけを指しているのではなくて、すべての人がというイメージでしょうか。

○文化・スポーツ振興課長：そうでございます。

○大橋委員長：そうであれば、45ページの前段のところの、例えば2段落目の「市は、年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、全ての人、スポーツに楽しめるように・・・」という、この辺りの表現を踏襲した内容が先ほど申し上げた部分に来てもいいのかなと思います。対象が障がいのある方に限定されているような表現になっているので。

○文化・スポーツ振興課長：年齢や性別、というところですね。

○大橋委員長：はい。万人が、というのが伝わるような文章でいいかなと思います。

○文化・スポーツ振興課長：ありがとうございます。

○力久副委員長：もう1ついいですか。16、17ページ、近隣市のスポーツ施設の状況というのがあるんですけど。ここにはこういう施設がありますよ、筑紫野市民が使おうとすると、有料とか無料とかありますが、そこを表示するのは難しいでしょうか。施設を利用するとすると料金がどのぐらいかかりそうだよとか。

○文化・スポーツ振興課長：そうですね、料金等を掲載するとかかなりのボリュームになってくると思いますので厳しいかなと思っています。

○力久副委員長：みんな有料なんですよね、おそらく。無料というものはないですね。

○浅谷委員：有料ですが、市民の割合により利用料金がどこの市町村も違ったと思います。筑

紫野市も割合によって違いますし。

○力久副委員長：この場所にこういう施設があるんだよと知って行ってみようかなと思うと、お金がえらいかかるなと思ったら行くのをやめたになる人もいると思うんですよね。詳細はいらないと思いますが、有料とか無料とか記載してあると使い勝手がいいですからね。

○文化・スポーツ振興課長：今回は計画になりますので、周知に関しましては別で考えさせていただきます。いただければと思っております。

○力久副委員長：わかりました。

○文化・スポーツ振興課長：申し訳ございません。線引きをさせていきたいと思っております。

○スポーツ企画担当係長：大橋委員長が先ほど言われた45ページの③の部分、「障がいの有無にかかわらず」のところを前段の部分を踏襲したらというアドバイスをいただきましたので、修正内容を読み上げてもよろしいでしょうか。

まず③その他のスポーツイベントの開催

スポーツへのきっかけづくりや興味を持ってもらうため、体育協会やスポーツ推進委員と協力し、賑わいづくりの仕掛けや、ここから変わります。年齢や性別、障がいの有無などにかかわらず、全ての人が他のスポーツを楽しめるよう、誰もが気軽に参加できるボッチャやモルック体験等を取り入れたスポレクフェスタを開催します。

○大橋委員長：おっしゃっていただいた内容でいいと思っております。

○スポーツ企画担当係長：ありがとうございます。このような形で変更させていただきたいと思っております。

○大橋委員長：ちなみにこの45ページの一番下のニュースポーツ実施の支援については、貸出の可能性はありますか。

○江口：現在、市では何種類かニュースポーツの用具がありますので貸出をしております。今後につきましては、予算がつけばということになりますが、ここに記載の通り、色々な要望を聞き取りのうえ、用具を揃えて、地域の皆様に貸し出していければと思っております。

○溝田委員：いいですか。最近の話なのですが、シニアでニュースポーツのボッチャをやりたいけど用具がないとのことでした。身体障害者福祉協会にはありますけど、購入する際に市の補助はあるのでしょうか。

○大橋委員長：スポーツに使える用品の補助があるかどうか、事務局どうでしょうか。

○スポーツ企画担当係長：今現在スポーツ用品購入への補助はないです。スポーツ用品を買うことについては、ニュースポーツであろうと既存のスポーツであろうと、どちらもありません。

○江口：よろしいですか。市で市民体育祭の関係で補助金は出しておりますが、それに合わせて地域でスポーツイベントするときに用具を買う場合は補助の対象にしております。1年か2年前とかですね、どこかの地域がニュースポーツ用具を購入されてあった記憶はあります。ただそれはあくまで市民体育祭とかの主体となる地域等に対しての補助になりますので、先ほど

おっしゃられたような、シニアの団体等に対して直接の補助というのはスポーツの担当ではないです。以上になります。

○溝田委員：様々な種目のあるニュースポーツ用具を充実させるということになると、今から備えていただくということですか。

○スポーツ企画担当係長：その通りでございます。充実してないものについては充実をさせていくというような形で、何でもかんでも買うわけにはいきませんので、そこは計画的にニーズを踏まえながら、充実していければと考えております。

○大橋委員長：江口さんが言っていたいただいたそのスポーツイベントの開催に関しては補助金があるのは、この上に書いてるところとも重なる部分です。ただ個人の購入に関しては、補助は今のところ出ていない。確かにスポーツでどれが補助対象なのかというところは多分難しいのだと思います。それも含めて利用者の負担ということになっているというのが現状かなと。

○黒葛原委員：14ページの市内のスポーツ施設の利用可能種目の表ですが、細かい字なので見づらいんですね。せっかく市内の利用可能種目が出てくるのであれば、もう少しわかりやすいように大きくしていただくとかメリハリをつけて、施設を少し大きくするか色を塗るとかですね、何かそういう工夫をしていただけるといいと思います。これでは見たくないなという感じになるかなと思います。せっかく推進するならば、ここの部分はもう少し目立つように作っていただいた方がいいのではないかなと思います。

○文化・スポーツ振興課長：了解しました。

○大橋委員長：今のご意見は14ページだけですかね。はい。

○力久副委員長：私も思ったのは、地図をそのままポンと載せるのではなくて、もっと何か漫画チックではないけれど、大きくわかりやすく、その方がいいのかなと思ったのですが。市役所がここにあってっていう、わかりやすいのがいいかなと。これも字が小さくて地図で探すのには、ちょっと厳しいかなと。

○浅谷委員：スポット的な地図がいいってことでしょうか。

○力久副委員長：スポット的で、こことこことに何があるよと。もっと漫画チックでもいいかなと思う。漫画チックというか、ここにスポーツ施設がありますよ、と分かりやすいように。

○文化・スポーツ振興課長：素材があるかないかによって変わってくるところがあると思いますので、先ほどご指摘がありました見にくいという点、ご指摘ですね。今回でまたある程度固まってきましたので、あとはページの調整ももちろんさせていただきたいと思っております。

例えば5ページは表が横になってます。これはもちろん縦にしますし、あと3ページ4ページは見開きなんですね。そういうところもございますので、可能な限り皆さんにわかりやすいような形で示していきたいと考えております。

○大橋委員長：ちなみに5ページの表は、これを縦に向けるということで、左から右に読めるようにということですかね。

- 文化・スポーツ振興課長：見開きで1ページぐらいのイメージで考えております。
- 黒葛原委員：A4の中に積み込むんじゃなくてA3で掲載するようなことですかね。
- 文化・スポーツ振興課長：そうですね。バランス見ながら調整させていただきたいと思いません。
- 大橋委員長：13ページの地図はわかりますか。これも小さいですね。
- 文化・スポーツ振興課長：これも横になってますんで、基本的に縦になるようなイメージを持っていただきたいと思えます。
- 大橋委員長：これは13ページ、文字の大きさがと言われると難しいんですが、13ページの地図はわかりやすい方なのかなと思えますけど。
- 溝田委員：そうですね。
- 浅谷委員：これは写真のカラーコピーですよ。だから実際に冊子にされるときにはもっと見やすい形になってますよね。
- 文化・スポーツ振興課長：今回印刷した資料ですが、使用したカラー印刷機の色塗りがあまりよくないことと今回は安価な用紙を使っていますので、見え方は大分変わってくるのではないかと思います。よりはっきりとした色になってくると思えます。
- 大橋委員長：皆さんよろしいですか。
- 一同：はい。
- 坂倉委員：違うところもお聞きしてよろしいですか。少し勉強不足で教えていただきたいことあるのですが、このスポーツ推進計画の前は何か計画があったのでしょうか。スポーツ推進計画は、これが初めて作られたものなののでしょうか。
- 大橋委員長：私がいただいた資料としては過去、20年か30年か前の推進計画があり冊子でいただきました。
- スポーツ企画担当係長：平成15年ごろに1回作ったものがございまして、そのあと更新がなく、代わりとして、福岡県にスポーツ推進計画がございまして、県の計画に準じていくというのが基本的なスタンスで、筑紫野市で独自に作ろうという動きは今までなかったところなんです。初めてというより、今回久しぶりにというのが恐らく正しい表現かと思えますが、それで作ろうということで今回動き出したというのが現状でございまして。
- 坂倉委員：前と今の計画案は比べてどこが大きく変わっているのでしょうか。
- 大橋委員長：具体的にはスポーツの捉え方が変わったという文言はすごく大きなことだと思います。あとは地域の様々な施設のこととか、あるいは調査データもあまりなかったと思えますので、すごくざっくりと県の推進計画にのっかって当てはめたというのが前の計画だったような印象です。今回は具体的な調査も踏まえて、今後筑紫野市が進めていくであろう目指すべき姿というのが盛り込まれているという印象があります。具体化されたものが今回なので、実際には今回が初めてというふうな捉え方でいいのかなとは思っています。

○坂倉委員：ぜひ頑張っていたきたいと思います。もう1点よろしいでしょうか。平井市長が掲げた公約に3つの重点、その1つにスポーツが入っているのですが、この推進計画の中でどこに力を入れるとか目玉というのは何かあるのでしょうか。市民から見たら、どこで市長が何に力入れてるって聞きたくなりますよね、と僕は思って見ていました。スポーツで市民のためにと公約を3つ挙げられた市長の元につくられた推進計画が、その15年前からやっと具体的な初めての形になってきた。さあ進めていこうとなったときに、市長の例えば強い意向がどこで入ってるとか、身障者の方へとか、なんかこう広く満遍なくとかなんかそういうふうな上手い言葉とか形で何か入っているのでしょうか。別に批判しているのではなくて教えてください。

○スポーツ企画担当係長：よろしいですか。まずは私たち事務局それとスポーツ推進審議会を踏まえてお話をさせていただきますと、平井市長がスポーツに力を入れるということをまずおっしゃられた時に、最初に手がけたこととしてスポーツ推進計画を作ろうというのが最初のお話だろうと思います。その後教育委員会にこの話が来て、そしてスポーツ推進審議会に諮問という形で作っていきまして、それから答申ということになりますと筑紫野市のスポーツの方針が出ることになります。まずこれが一番大きな成果ではないかなと思います。

併せてこの内容が今度動き出しますと、施設の話が入ってきますのでその施設が仮に新しいものができていくとなれば、もう1つそこが段階的に上がっていきますので、やはり計画を作るというのが今の時点では一番力を入れてらっしゃることなんではないかなと感じています。

○教育部長：私から補足ですが、市長が就任される当時、総合体育館については公約の中で少しお話をされておりました。その中でやはり個人的な思いと、あと市民の皆様が何を求めているのかといったところをしっかりとらまえて、施策を進めていかなければいけないということになりますので、その根拠となるものをまず作ろうということがこの計画なんですね。この計画策定にあたり今回アンケートとかも行いましたし、そのアンケート結果を踏まえて、最終的には市民の皆様がどう考えているのか、どう思っているのか、そういったところを参考にしながら、また、市長の公約も含めたところを整合して、最終的に進めていくということになるのかと考えております。

○坂倉委員：ぜひすごいのができあがってほしいです。

○教育部長：やはりスポーツの振興を通してまちづくりをしていこうと。スポーツが元気なまちはまちづくりでも都合よくうまくいっているという言葉も市長の色々な挨拶の中で出て参りますので、そういった部分も含めてよりよい計画を策定したいと考えております。よろしくお願いいたします。

○力久副委員長：坂倉委員のお話で言うと、私は市長と具体的にお話したことないですけど、市長の思いからいくと51ページのスポーツによる地域活性化っていうところに、色々な言葉で集約されていると思います。地域課題の解決や人材育成だとかですね、色々なものがもうすでに少しずつ始まっている部分もあるかなと思います。今までにこういうのは多分計画とかでもな

かったのかなと私は認識しているんですけど。この辺が平井市長の思いのところではないかと思えます。この地域活性化というところが大きなところではないかなと思えます。

○坂倉委員：ぜひ具体的な施策のところを早くみたくなりました。

○泉原委員：今までの第1回目2回目の会議のところ審議委員の皆様から出ていた話の中に、部活動の地域移行の問題とか、それから競技スポーツと生涯スポーツを両軸と捉えて、どう進めていくとか、そういうところはまだまだ計画段階というか、具体的なことというよりも課題が山積みなところで、これから様々な課題をしっかりと話し合って実際どう動いていくかという実働の部分がおそらく出てくるのが今後だと思いますし、先ほどの計画の期間というところで、令和7年度からということで、これからはおそらくかなり大事になってくる。実際何をするかというところだと思いますし、パラスポーツが今回かなり盛り込まれてるというところで、そういう柱を見ていくと、他の福岡県内の市がそういうところにどれだけ取り組んでいるのかと言うと、私は福岡市も含めてまだまだなんじゃないかなと思えます。

そういうところをやはりこの場で今後しっかり詰めていくことがすごく大事なのではないかなと思えます。

○大橋委員長：よろしいですか。では議事としてはこれで以上になりますけれども、全体を通して何かご質問等ありますでしょうか。

○坂倉委員：もう1点いいでしょうか。ニュースポーツという言葉が入ってるんですけど、前回もお聞きしたと思いますが、例えばeスポーツとかああいうところは含まれてるのでしょうか。ニュースポーツの中についていうよりも、例えば今eスポーツはもう1つの形としてジャンルとしてできつつあるけど、それがこの計画もしくは何かぼっと出てきたときに当てはまる項目としてあるのかなって今ちょっと思いました。

○文化・スポーツ振興課長：eスポーツについて記載しているところがあるんですけども、8ページですかね。8ページのスポーツの定義の中で触れさせていただいています。eスポーツについては現時点で本計画のスポーツの範囲を含めていませんが、一部で大会の開催や学校のクラブ活動として取り組まれる動きも出てきます。そのため今後の動向を注視しつつ、必要に応じて計画の見直しを検討します、と記載させていただいています。

○大橋委員長：よろしいでしょうか。ご質問がなければ次第の5、事務連絡をお願いいたします。

○文化・スポーツ振興課長：もし文言等の修正でお気づきの点がありましたら、来週の12月5日までお願いしたいと思います。また議事録に関しましては、6日という話をさせていただきましたが、よろしければ同じ5日に合わせたほうが分かりやすいと思いますので、どちらも12月5日の17時までお願いしたいと思います。また、次回開催につきましては、パブリックコメントを1月に行います。意見を取りまとめた後となりますので、2月中の開催予定としています。詳細につきましては、後日事務局の方より皆様に通知させていただきたいと思えます。

以上になります。

○大橋委員長：ありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度第3回筑紫野市スポーツ推進審議会を終了いたします。ありがとうございました。

○文化・スポーツ振興課長：ありがとうございました。